

福岡県地域エネルギー政策研究会の進め方について

1 運営方針

- 研究会の存続期間は、当面、2年間（平成25～26年度）とする。
- 研究会は概ね2～3ヶ月に1回程度の開催とする。
- 毎回テーマを設定し、テーマに沿った講師を招聘。
講師から最新動向など情報提供をいただいた後に、委員間で討論を実施する。

2 検討テーマ

- ① 再生可能エネルギーの普及に向けた地方の役割と普及促進策
- ② 燃料電池を含むコジェネ（熱電併給システム）など分散型電源の普及に向けた地方の役割と普及促進策
- ③ 石炭や天然ガスによる高効率発電の普及に向けた地方の役割と普及促進策
- ④ 需要サイドにおいてエネルギーの効率的利用を促進するために地方が担うべき役割と具体的な取組み

3 議論のとりまとめ

- 研究会の進捗に応じ、適宜、県に対し報告・提言を行う。

4 次回開催

- 第2回研究会の開催予定は、以下のとおりとする。

〔開催日時〕 平成25年4月下旬頃

〔開催場所〕 福岡市内

- 〔内 容〕
- ① 電力の安定供給のために果たすべき地域の役割
（講師招聘 予定）
 - ② 家庭におけるエネルギーの需要構造と課題
（講師招聘 予定）
 - ③ 福岡県における平成25年度エネルギー関連施策
（事務局説明）
 - ④ 今後の議論の進め方について

5 今後の開催日程（案）

回数	時期	研究内容（ヒアリング事項等）	ゲスト講師
第 1回	25年 2月23日	福岡県を取り巻く現状と地域エネルギー政策研究会の役割	事務局 （福岡県エネルギー政策室）
		わが国のエネルギー戦略（仮称）	資源エネルギー庁 井上 宏司 次長
第 2回	25年 4月下旬	電力の安定供給のために果たすべき地域の役割	
		家庭におけるエネルギーの需要構造と課題	
		（今後の議論の進め方）	
第 3回	25年 7月上旬	再生可能エネルギーの普及動向と課題	
		再生可能エネルギーの開発動向	
		【討論】再生可能エネルギーの普及に向けた地方の役割と普及促進策	
第 4回	25年 9月上旬	コジェネの普及動向と課題	
		家庭用燃料電池の普及・開発動向	
		【討論】コジェネなど分散型電源の普及に向けた地方の役割と普及促進策	
		【討論】中間とりまとめ	
第 5回	25年10月下旬	発電事業の最新動向	
		石炭ガス化発電の研究開発動向	
		【討論】高効率発電の普及に向けた地方の役割と普及促進策	
第 6回	25年12月中旬	省エネルギーの現状と課題 （産業面・業務面を中心に）	
		県内工場における省エネルギーの取組み	
		【討論】需要サイドにおいてエネルギーの効率的利用を促進するために地方が担うべき役割と具体的な取組み	
第 7回	26年 2月下旬	【全体討論】年度末提言とりまとめ	
		（次年度の議論の進め方）	

※ 平成 26 年度開催日程・研究内容については、研究会の議論の動向及び国政の動向を踏まえ、検討を行う。